京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

雜報

清津港の近況

清津は北韓に於ける唯一の開門にして會寧及び鏡城に據じ湖灘港に續いて清領の開市場たる渾春あり又一方に於ては間島を控ゆるのみならず清韓の自由貿易に伴ひて滿洲の物資は同港より移出し他に之を求むること能はず

▲經濟區域として成鏡北道間島及び北滿洲に廣大なる平野あり是等の地區は數多の農産物に富み石炭砂金其他の鑛物を包藏し有名なる茂山其他の森林あり且つ沿海にて數多の海産物あるを以て大に世人の注目するところなるが開港以來僅かに二箇年なるも

▲現住せる者は日本人戸數六百七十五戸、人口二千一百餘人あり又市街を去る二十七八丁の新安洞にて韓人の一部落あり戸數六百六十九戸、人口一千百九十二人にして外に清人の戸數三十五戸、人口三百三十四人あり日に月に增加しありて

▲經濟狀態に於ては其勢力一部會寧を經て間島方面に又雄基を經て渾春方面に及ぶと雖も其大部分は清國人に掌握せられつゝありて間島及渾春貿易の振はざる所以なりと蓋し會寧地方に到る

▲交通機關としては軍隊の布設に係る手押輕便鐵道ありて一般の貨物及旅客の運搬を爲すと雖も其輸送力不十分にして且運賃高きが故に運輸機關としては勿論不充分なり次で日本商人は清國商人と異なり平素片貿易的の地位に在るが故に交易上甚亦不利益なり而して清國貨幣の勢力を占むる官帖は常に相場の變動を來す等は甚しき爲めに日本商人の取引を阻害すること少なからず殊に清商と競爭するは決して容易の事にあらず之今其の通商狀態を摘錄すれば

(一)輸入貨物の割合は大阪より九分神戸、長崎、下之關、門司、露領浦鹽より一分

(二)輸出貨物仕向割合、輸入貨物の割合に同じ

(三)移入貨物仕出港の割合、各沿岸より輸入する貨物の割合は釜山より五分元山より三分城津、雄基及其他より二分とす

(四)移出貨物仕向港の割合 各沿岸に移出する貨物の割合は雄基六分五厘城津へ一分五厘釜山へ一分元山へ五厘其地へ五厘

(五)雜貨物の各地に於ける消費割合は各沿岸及外國より移入及輸入する貨物の重なるもの左の如し

シーチング、雨傘、晒金巾、砂糖及び精糖、日本木綿、

以上貨物の消費割合は間島地方三分五厘茂山及會寧地方三分五厘清津及羅南地方三分とす小麥粉の消費割合は清津七分羅南三分とす

其他の貨物消費割合は羅南四分清津三分會寧二分鏡城一分とす

松本理事官の談

(木浦經濟會に於て)

▲多望なる全南 全南の耕地は二十五萬餘町歩(田十八萬町歩、畑七萬町歩)ありて彼是我越後に相當し猶十餘萬町歩の未墾地を有し到處に良田美圃がある米は浮山出來る肥料を用ひずして耕作する目今に於ても平年産額の百八十餘萬石に達す麥も出來る豆も出來る菓實も出來る椎茸も出來る何でも出來ぬものはない其出來る物は皆上等である中にも最も發達に適し又棉花の特産地である昨年の産額は約二千万斤に達し木浦の海岸は棉花の山を築いた耕地は次第に增加し種子は改良せられ益好成績を擧けつゝあるから遠からず我母國の紡績材料は殆んど此地より供給することが出來る予は畑も島も殘らず桑田と棉花圃に致したいと言ふ希望を以て居る海には大小一千餘の島嶼を有し好漁場は到處に在りて水産物は無盡藏である庵原農商工部水産課長の談に依ても魚類は夥しく群集し石首魚の群集せる場所にては船底に群雉の鳴聲する如くとても就眠することが出來ぬさうでとである之は一例に過ぎぬが魚類の非常に多く集生して居ることを證するものである又海藻物の豐富なるにも驚くの海底に累々山積して居るのである。要するに幾億萬無限の利源は此多島海の如く全南の海陸は大富源地である然るに全韓第一位の産業地である然るに之迄は交通の便なく海陸の連絡なかりし爲に斯る大富源も「ネグレツー」せられて居たものである。

▲大發展の機運は來れり 多年宿望して已まざりし湖南鐵道敷設豫算案は貴衆兩院を通過せり湖南鐵道は京釜鐵道の太田か又は鳥致院より全韓第一位の農産地を縱貫して木浦に達し無盡藏の水産海と連絡することに爲りたるを以て此大富源は開發せらるゝことに爲り世界の大富庫は開門することに爲り大發展の機運は來たのである。

▲千客萬來 全南八百二十一方里には韓人が百四十五萬人在住し日本人は交通の不便なるに因り活動が出來難かりし爲に之迄は僅に七千餘人許り入込んで居たが今度愈々鐵道が懸ることになりて海陸大發展の機運に際會したるが故に千客萬來浮山入り來るに相違ない又入り來らねばならぬ陸も廣ければ島も浮山ある幾人入り來るも之を養ふ餘地は十分に在る暴徒は滅盡し海陸の警備は十分に付て居るから大丈夫である

▲木浦の價値 全南は韓國西南端に突出して日本及支那に面し木浦は其突角に在りて海は深く風波の難はなく幾多の巨船大船も自由に繋留し得べく眞に天然の良港である此良港が大富源地海陸連絡の唯一の要點に在りて湖南鐵道の南端停車場の設置せらるゝ處である予は曾て木浦は將來韓國三大港の一となるべきことを稱へたることあり湖南鐵道を敷設するとき海陸産物は山の如く集り日本支那及其他外國と貿易を爲すに全韓最も便利なる要所であるから大發展を爲して大商港と爲るべきは期して待つべきである。

最近金巾の輸入(一)

昨年中韓國に輸入されたる生金巾、晒金巾「シーチング」の價額如左(單位圓)

	生金巾	晒金巾	シーチング
日本産	三,0四	一六,三二四	一,七九,一二七
英國産	一,一三0,三六0	一四七,三二一	六一六,八0七
米國産	一,五四六	一四三	三二,六三六
支那産	三九	……	一七
合計	一,一三五,00九	一四九三,六九八	二,四二八,五九七

前表に依れば日本より輸入するものゝ殆んど全部はシーチングにして韓國に於て通常和金巾と稱するもの之れなり其の他例年僅少の生金巾、晒金巾等の輸入を見ると雖も是れ恐らくは日本經由英米産品が日本品として輸入せらるゝものなるべし而して該和金巾の過去に於ける狀況を見るに明治二十七年輸入開始の當時は其額僅かに二萬一千餘圓に過ぎざりしが同三十二年には二十八万二千餘圓同三十七年には百八萬二千餘圓同四十二年には百七十七萬九千餘圓に增加したり

碧蹄館行き

伊豫之守(一)

こゝ一年餘りと云ふものは妙に引籠り屋となつて京城の土地を距れて旅行したことがない、尤も滊車に乘つて飛脚的一夜旅び位ひは爲たが一里と纏まつた道は歩いた事はない、大方毎日編輯局の一隅に陣取つて紙屑裡に埋れて居る、五體は追々肥滿するがドウも本當でない運動不充分と云ふ證據が段々と現はれて來る、此儘で今一年も過ごしたら碌な身体にはならぬ、氣候も大分宜くなつたチト野外運動でも試みようと思つて居る折柄、統監府の先生達が廿一日の日曜を利用して碧蹄里に遠足を試み館内で史學專門と聞へた廣田文學士の戰爭談しがあると云ふ事でコンナ奉ひはないと早速同行を申込み、豫定に從つて二十日午前九時獨立門通りの乘合馬車停留所に至る、借切り馬車は都合五臺で一臺六人乘り既に先着して廣田文學士等は出發の積りである殘る四臺は二十四名を分乘せしむべき準備が整つて居る、此處の世話係り小田氏は一昨年吾輩が志賀重昂氏と南韓視察中群山木浦間の往復を同船した人である、一行中で知人は此人と國民の熊谷老公と二人である、豫定の九時三十分に全員集合して出發した、第四號の馬車には吾輩と熊谷老公とが同車した處が老公の出腹と吾輩の臼大的尻が合は狹き馬車には甚だしく据りが悪い二人で少なくとも三人分は横領して居る、されば他の四名の人々は口にこそ言はね甚だ迷惑の樣であつた、途中に坂路が多かつた爲めでもあるが吾輩も老公も屢々下車して徒歩を試みしに思つたよりは中々足も達者で寧ろ馬車に揺られて歩るくのが愉快であつた、沿道の風光は例に依つて何も賞すべき者はないが往路二三里の間は右手に當つて巍峨たる北漢山が如何にも雄大に見へるのであつた、併し車中にある時は馬車がガタ付くのでヒヤ〱思つて勝目處でなく歩む時は馬車と競爭で何事にも氣が許せず思はず知らず正午頃高陽邑(碧蹄館所在地)に到着した、先發の自轉車隊數十名と廣田文學士の一行と居るばかりで鐵道連は未だ到着し得ぬのである。

日本銘刀傳

第七十三席 邑井一講演

丁度三日目の晩に藤「客人たちや 勘「此りやア御當家の御主人、何御用で 藤「今夜はお前方少し氣の毒なことがある 勘「ハア何かございますか 藤「外ちやアねえが、俺が處に土地の若い者が大勢集まつて、賭博を始めるのだ、勝負事と云ふものは靜かにやる積りが、遂にはがや〱氣が乘つて來ると騒ぎ出すから、其處丈けは承知して居て臭んねえ 勘「エー夫りやア宜うございます」と云ふのは自分達も、夫れは好きだから互ひに顔を見合して 勘「夫れは賑やかで宜うございます、夫れから賭博が始まる段になるとゾロ〱〱〱〱彼れ此れ三四十人這入つて來た、頓てポカ〱〱〱〱始まる、好きな道だから諏訪の五郎藏、堤下の勘太、高島の早太皆ソロ〱手を出す、今賭博が眞つ盛んになつて來たかと思ふと 甲「オイ向ふの 乙「何だ 甲「濟まねえが此の間、お主の方へ廻して置いた奴を、此方へ廻して臭れ 乙「何い 甲「此の間お主の方へ廻して置いた奴を此方へ廻して臭れ 乙「何だお主の方へ廻して置いたてへな 甲「夫れ其の一件ものよ 乙「何だ一件者てへな 甲「エー眞實に分らねえ……夫れ手前に先日貸した金を返せと云ふんだ 乙「何だ……俺が手前に何日金を借りた 甲「貸したぢやアねえか手前に…… 乙「馬鹿云へ借りるものか 甲「イヤ貸した 乙「ナニ貸りねえ 甲「ナニー 乙「ナニー」とお互に手を出しやつたか遂に喧嘩が始ちまつた、ドタンバタン兩手組打をして居たが「止せ〱」と大勢の者が取押ねる風をして、がや〱〱と突然堤下の勘太、諏訪の五郎藏、高島の早太、勘太の乾兒の咲藏と三郎の五人の居る部屋へドカ〱つと這入つて來た、五人の者は何事かと思つて居るぞ、突如大勢して五人の者へ繩を掛けやうとする「何をするんだ」と五人が立上がらうとするのを大勢して難なく繩を掛けてしまつた、五人は唯驚いて居る所へ出で來た天狗の藤太「ヤイ〱手前達能く承はれ、外でもねえ俺は祐興祐實兩人に賴まれて汝等を欺したのよ三「ナニ 天「ナニも糞もあるものか、能く考へて見よ、人間の皮を被つて惡黨を助けて善人を苦しめることが出來るか何うか、汝、三郎とか云ふ奴は祐廣を殺したに違ひあるめえ俺やア此土地の刀鍛冶に賴まれて、祐廣の子が親の仇敵を討ちたいと云ふ神妙な心に動かされて、手前達を誘き寄せやうと思つて流言の策を施こしたのを手前達が知らずに引掛つて此處まで來たのが運の盡き、もう協はねえ所と觀念しろい」堤下の勘太は口惜しさうに齒を切しばつて 勘「夫れぢやまつたく手前の計略に陷つたのか、思へば〱殘念だな」諏訪の五郎も「エヽ夫んなら却つて計略に陷つたのか、殘念だ〱」今更何うすることも出來ない、祐興祐實廣光の三人も 興「こりやア天狗の親方さんのお蔭で難有うござんした、ヤイ惡黨三郎能くも祐廣を殺した、俺と間違へて祐廣を殺しやアがつて何と云ふ無法極まる奴だ、是れから手前達を籠に乘せて鎌倉へ送るんだ 實「能くも父を殺したな」と涙をハラ〱と落す、其夜は三郎を始め四人の者等を一室に縛し置いたが、三郎は遂に免れらことの出來ないと知つたので美事に舌を嚙切つて死んで居たのを翌朝になつて發見した、今は是非なりと祐實は三郎の首を斬つて鎌倉へ持歸つて父の墓前に手向けました、堤下の勘太、諏訪の五郎藏、高島の早太、咲藏の四人の縛めを解いて祐興より金を五兩宛遣し、各々三郎の惡人にして祐實の親を殺したことを詳しく話し懇々論しましたので流石の惡人も肝腎の三郎が死んで居ないのだから張合もなく、五兩の金を貰つてスゴ〱立歸つた、天狗の藤太へは金を五十兩と祐興祐實兩人にて打上げた刀を一本贈り天狗の藤太乾兒にも夫れ〱禮をして祐實仇討も目出度本望を遂したのでございます、其後祐興は沒して祐實は益繁昌して正宗以來の鎌倉鍛冶の名前を落さなかつたのでございます



京城新報

今後の東洋拓殖會社

（東拓法及定款の改正）

昨東電の報ずる所によれば政府の提出に係る東洋拓殖株式會社法改正案は無事貴衆兩院を通過せりと、之れ東拓經營の任に當る宇佐川總裁以下各重役の喜ぶところ、六千株主の喜ぶところ而して日韓公衆一般の喜ぶところである。

東拓創立以來日未だ淺くして思通りに仕事が運ばぬとは重役諸君の平常の言分である、之れに反して半官半民的の一千万の巨資を擁せる堂々たる東拓會社が創立以來何一とつ仕事をせぬのは其源因が全然重役の無能にありとは一般公衆の言分であるのである。重役の言分正しきか公衆の言分尤もなるか何れにしても言分は相方に澤山あるのである、而かも余輩は公衆の一部として常に公衆方の言分を代表しつゝ過去一個年間東拓總裁と戰をしたのである、總裁宇佐川男が余輩の言分に感服不感服は別として兎にも角にも過去一箇年間春夏秋冬余輩の相手となつて防戰せられたる其勞は余輩の多とするところであつて同時に光榮に感ずるところである。

有体に云へば余輩も拓殖事業には多少の實驗を有する、從つて本事業が世間有觸れの官私營利事業に比して其經營の如何に困難なるかは知るところである、故を以て余輩は宇佐川男に向つて今日迄無理な注文をしたことはないのである。東拓會社に兩面あり、一を金融部とし、一を事業部とす、余輩の解釋に因れば金融部は資金の貸出に因つて間接に拓殖事業を助け事業部は新たに拓殖事業を起して其經營の任に當る役割りである。何がさて今日までは金融、事業兩部共あまり振へりと云ふべからず、而かも金融部に至つては事實上公衆の期待に副ふ能はざりしを以て公衆非難の燒點となつて殆んど無用の長物の如く見做され來つたのである、併し余輩をして考へしむれば今日迄の金融部は有体に云へば營養不足である資金と云へば僅かに五十萬圓しかないのである、如何に岩佐部長が心配しても無い袖は振られぬのである、實際から云へば金融部は創立の當時より多大の囑望を負したる公衆を失望せしめたのである、囑望程度の大なりしだけ、夫丈深く失望せしめたのである、失望者の側から云へば可愛さ余つて憎さが百倍となつたのである。若しも金融部にして豐富な資金を有し創立以來今日迄に公衆の要求を着々充たし來つたならば公衆は東拓を目するに救世主を以てし非難どころか宇佐川總裁の影を踏むものもないに違ないのである。事情斯くの如くなれば東拓は順風に帆を揚げ其事業部は急がず惑わず悠々と新事業の調査撰擇に從事し永遠に効を收むるの基を開き得たのである、今は言ふも詮なし、而かも今日迄の東拓の不評は其源因を東拓法及定款の不備に存し重役の失敗は云へば其不備なる東拓法及び定款を無理に運用せんと試みたことであるのである。

不肖余輩は東拓會社の不活動が其大部分の原因を法及定款の不備に存することを昨年中に於て認めた、因つて昨年八月十七日發行の本紙に於て其改正の必要を說き且つ希望を開陳し爾來余輩は希望の貫徹に意を注ぎ來つたのである。

我東拓重役諸君も余輩の氣の附く位の事は疾くに氣が付かれて居たのである併し如何にせん法の改正は重大の事であるのである、露骨に云へば重役諸君は法の改正を政府に請ふに於て左顧右盼の趣があつたのである。殊勝にも最後に於て斷然たる決意を以て政府當局に迫つたのである、有体に云へば政府部內に於ては改正案は本年の議會に提出せざることに、略ぼ定まつて居たのである、夫れを東拓側が是非共と迫つたのだから東拓關係の官憲は種々の理由を以て提出に反對したのである、幸ひに東拓の擁護者たる某候は公平なる見地より宇佐川總裁の主張を納れ案は迅速に提出され通過さるゝに到つたのである。法の改正に次いで爲すべきものは定款の改正である、之れも遠からず總會に於て決行さるゝことゝ思ふ。斷つて置くが今回の改正中最も重要なるは金融部資金の擴張である、貸出資金五分の一を二分の一としたのである法及び定款の改正も濟めば先づ之れで不備の點は消滅するのである、次ぎに來るべきものは社債の募集である、法の許す範圍に於て東拓は現在に於て二千五百萬圓の起債をすることが出來るのである、而して此二千五百萬圓を手に納るゝ途は幾らもあるのである。

過去一ケ年間に於ける不評の源因は今回の改正に因つて消滅したのである、扨是からは重役の手腕如何によりて東拓の死活が決せらるゝのである、重役諸君の責任は益々重きを加へたのである、余輩は興味を以て今後の成行を觀望するのである。

東京電報

▲遭難漁夫へ恩賜

千葉　上總沖漁船の慘狀天聽に達し特に金四千圓を御下賜相成りたり(廿二日)

▲漁夫天恩に感泣す　千葉縣知事は遭難者へ御下賜金御沙汰ありたる旨を傳へたるに何れも天恩の優渥なるに感泣し居れり(同上)

▲曾禰統監の歸期

曾禰統監は往訪の客に語つて曰く健康の如何に拘らず來る二十六日東京に出で桂首相と會見し韓般の政務を打合せたる後四月十二日東京出發歸韓の途に就くべしと(二十三日)

▲兩院の議決事項

本日の貴族院に於て鐵道稅改正案は下院通り可決し軍人官吏恩給法臺灣銀行法可決し衆議院に於て民事訴訟法改正案否決さる(同上)

雜報

韓人移住の獎勵

目下咸鏡南北道に於ける清韓國境一帶の居住民は家財を取纏め一家を擧げて對岸淸國領へ移住するもの頗る多く此形勢の推移する時は數年ならずして該地方は寂莫荒涼を極むべき模樣なり依て所在官憲は之が理由を調査せしに該地方は一帶に降雨多量にして農作物の被害多く隨て收穫物減少せるより生計困難を感せる結果鄕國を棄てゝ移住を企つるものなるが又一には淸國政府が盛んに韓人の來住を獎勵して耕地を給付し且つ資本なきものには一人に就き金十圓及粟六斗を貸與する規則を設けたる結果之に誘致せらるゝもの如し

議會と韓國問題

（廿二日統監府着電）

本日貴族院本會議に於て關稅定率法案の穀類其他に付ては兩院協議會決定あり可決し東拓法案も原案の通り可決せり、城津被害救恤法案の委員會に於て外務次官の反對意見あり委員會は未だ可否を決定せず

●世襲的利權屋撲滅

韓國には古來利權屋とも謂ふべき一種不可思議の營業者ありて盛んに毒爪を逞ふし延いて眞正なる產業の發達を沮害するもの尠からざるが如し彼の何々會社と呼び何々組合と號し表面其名を衒ひ居るも裏面の實際を査察すれば特許權利の如く心得横暴到らざるなきは一般の認むる處なり現に仁川に於ける紳商會社の如き往時或種の權利を付與せられたるより今尙ほ之を振翳ざし自他共に異どせざるの風あるは則ち是にして斯かる例は到る處に之を求むるを得べし蓋し是れ因襲の久しき已むを得ざる現象なりと雖も若し之を此儘に放棄し置かんか其弊害の程計り知るべからずとて農商工部は疾くに之が調査に着手し無認許會社の存在を許さゞると共に既設の團体にして斯る傾向あるものは假借なく是を處分し既に京畿道に於ける某々團体に對しては嚴重なる警告を與へたりと而して漸次十三道に及ぼし所謂韓人一流の世襲利權屋撲滅を期する計畫なりと云ふ

●東拓引繼地所賃率

東拓會社が目下引繼ぎつゝある驛屯土四分の三は本月下旬又は來月上旬迄に全部終了の筈なるが韓國政府に對し上納すべき該地所の賃貸率は從來韓國政府が小作料として小作人より取得し居りたる最近賃率の二割引を標準とする由にて撰定中の場所は左の如し

△慶南　鎭海、龍南、固城、河東昆陽等の四分の一の地價

△慶北　大邱、漆谷、慶山、密陽

東萊

△京畿　水原、開城、楊州

△黃海　信川、安岳、載寧、鳳山

黃州

△平南　平壤

△平北　安州、定州

△全南　羅州

△全北　東津江流域、全州

△忠南　江景附近

●市場稅と大道演說

新義州地方裁判所支部橋本檢事は揚市の亂民にて目下拘禁中の黃菊保等被告事件に關し證人訊問の爲め揚市に出張し一面告諭文を發すると共に更に一面に於ては多數市民を召集して大道演說を試み課稅の國家存立上已むべからざる所以を說きて彼等の反省を促がし且つ檢事は犯罪を檢擧し刑罰の執行を完全ならしむる職務なるが素より處罰は之を愼重に行ひ處分は飽く迄公正を期せん爲め特に出張取調を爲す所以なり故に此機に於て漫りに蜚語流說に迷はさるゝなく事實は腹藏なく之を陳述すべしと諭示し大に感動を惹起せりと

●新政派の組織困難

政治運動は京城兩班の一特性にして彼等は空ら騷ぎにもせよ政治を擔ぎて運動し回る間は政權に近き得たるかの心地するものと見ゑ兎も角快く感じ居れるが如き有樣なるが政黨組織計畫は又もや目下の一流行となり韓政客等は彼等にも此方にと此問題を擔ぎ回り居れるも財力缺乏の彼等の事とて捗々しきこともなく西北人等計畫の政黨も此點よりして目下行惱みの姿なるが之は結局物になるべく高義駿、閔元植等の新政黨其他は到底成立覺束なかるべしと

●仁川民長壯丁訓示

仁川の壯丁百十餘名を二十二日仁川民役所に招集し岩崎民長より受檢に關する注意事項を訓示したるが檢查場所は龍山軍司令部內にして當日壯丁は最近の撮影を携帶すべしと而して民團に於ては總ての便宜を與へんが爲め龍山本町二丁目西野旅館を指定して同旅館には民團吏詰切にて諸種の斡旋を爲すと

●五學會窮狀を訴ふ

內部にて寄附金募集に關する規定を發布して以來從來寄附金を重もなる收入としつゝありし諸學會は維持困難となりしより大に狼狽し屢々當局者に同規定の改正を哀願せしが去る二十日畿湖以下の四學會集會し畿湖學會長兪星濬は尙ほ一回學部次官に請願すべしと提議し衆之れに同じて散會したりと云ふ

●各道の痘苗請求數

各道より內部衞生局へ請求し來る痘苗數極めて多數にて之が爲痘苗製造所は繁忙を極め猶不足を告げつゝある次第なるが三月一日より廿二日迄の請求數各道總計五萬〇百四十五にして本年に入りての累計は六萬四千三百五なりと

●救世軍の士官養成

在京城の救世軍本營にては韓人士官養成の目的にて向ふ六ケ月間每週二回づゝ午後より大韓布敎演說をなすべしと

●水雷艇の仁川入港

帝國水雷第九艇隊脊鷹、鳩、雁、燕の四隻は旅順より交代の爲め歸航の途次廿二日午後一時仁川に入港碇泊中なり

●龍山養蠶講習所

本年度より官立に移りたる龍山養蠶講習所に於ては十八歲以上の女生徒を募集中の所目下應募者九十名ありたるが此內二十名を採用する筈にて四月一日より講習を開始し十一月三十日を以て卒業する筈なり

●藤野君山氏來京

往年太政官の修史館に奉職せし史學家藤野靜輝(君山)氏は史蹟踏査の爲め南洋諸島印度濠洲各地齊々哈爾浦鹽等を經て廿一日入京したるが在京城の有志者は同氏の講演を聞くべく目下協議中なりと云ふ

●向田部長の巡視

向田京畿道警察部長は江華島巡視の歸途二十二日仁川に來り二十三日仁川署に於て點檢を行ひ二十四日富平、秦砂の各區內を巡視の上二十五日歸任する筈なりと云ふ

●囚人の作業開始

仁川監獄分監にては昨二十三日より囚人の作業を開始せしが先づ初めは藁工のみに止め漸次指物其他精米等に着手すべしと云ふ

中學校の開校期

來る四月より開設せらるべき統監府立中學校に關する豫算案は今明日中に發表さるべき筈にて發表後は直ちに內府より借受たる長興宮內に約一萬坪の地をトし新校舍の建築に着手し來る十月中に竣工せしめ天長節には是非開校式を擧行する見込の由なるが新校舍の落成迄は現今の京城民團立中學校を其儘繼承する筈にて一進會の所有に係る獨立館の轉貸に付ては民團役所及統監府より李一進會長へ交涉する所あるべし

京城民會の紛擾

四十三年度京城居留民團豫算審查委員會は引續き二十二日午后六時より開催せられたるが是より先き該委員會は前後三回開催し其內十九日の委員會は無效の開會なりとて委員皆川廣濟氏異議を申立て遂に同氏は二十二日委員辭表を和田議長及中村委員長の許に提出せり今其理由を聞くに十八日の委員會に於て翌日は休會すべしと決議せしに御處披露會場に於て委員等落ち合ひたる際俄かに打合せ開催したるも皆川議員へは唯だ一片電話にて通告を爲したるのみ然るに皆川氏は前日の決議を信じて出席せざりしに其間に於て委員會は一瀉千里の勢を以て進行し殆んど豫算議出全部を審了し去れり此經過を知らざる同氏は二十二日夜出席し事の意外なるに驚き其非理無效を論じ且つ委員の一人として發言權を得ざる以上は到底職責を完ふするを得ざれば遺憾ながら辭職の外なしとて斷然決意して退席したりと而して七名の委員に缺員を生せる同委員會は補缺か有効繼續か一問題たるべしと云ふ

●仁川民會議事摸樣

仁川第十四回民會を引續廿三日午後二時三十分より開きたるが出席者は市川、稻田、八田、加藤、伊東、加來、青木、平山の八議員にして奥田議長缺席の爲め互選の結果伊東氏議長席に就きて議事に入る先づ高等小學校組織改正の件及び乙種商業學校設置に關する青木委員長の調査報告ありたるが其要旨は高等女學校を正則の學校たらしむるは仁川の現狀より時期尙早の感あるを以て原案を否決し同じく乙種商業學校設置の件は現在の私立敎育衞生會附屬商業夜學校を擴張して民團經營に移すものなるが之は時期に適せし問題にして敎育改善上の稗益多大なれば滿場一致を以て原案を可決したりと云ふにあり斯くて右二問題の第二讀會に移りしが前記高等女學校の件は稻田、八田、加藤氏等盛に反對說を唱へ加來、青木、伊東氏等は熱心に原案贊成を主張し約一時間餘甲論乙駁議論に花を咲かせしが結局原案の如く組織を改正するに可決し次で乙種商業學校設置の件は異議なく原案通り可決確定し之れと共に右に對する民團諸規則の改正案を可決し四十三年度歲出入豫算案に就ては加來調查委員長より精密なる審議報告ありて議事に移りたるが多少の修正を施しある右委員長の報告通りに原案を可決し終て協議會あり閉會せしは午後七時過なりし

●第二校證書授與式

京城民團第二小學校にては二十三日午後二時より修業證書授與式を擧行せり來賓には統監府理事廳の各學務關係官を始め民長各父兄數十名ありて卒業證書修業證書賞狀賞品の授與を行ひ横山校長の告辭ありたる後民長亦一場の諭示を爲し生徒總代答辭を述て式終れり

●秋山中將の歡迎會

在京龍仁間の愛媛縣人有志者は廿二日入京したる同縣出身秋山中將の爲めに來る二十五日午後五時半より花月樓に於て歡迎會を催ほす筈にて希望者は旭町二丁目京城通信社宛申込むべしと

●農林學校生徒募集

水原農林學校にては新學年の生徒四十名を募集する由にて志願者は來る二十五日までに願書を提出すべしとなり

●大邱農林學校開校

既報大邱農林學校は設備完成したるを以て來月より開校することとなりたりと

●近藤支店長出發　郵船仁川支店長たりし近藤勝之助氏は廿三日出發歸朝

●齋藤書記官出發　廿二日仁川出帆の筑後川丸にて齋藤書記官木浦に向ふ

●山崎次良氏入京　牛莊領事館員の同氏は廿二日安東縣より入京巴城館投

●正誤　昨紙第二面貯蓄銀行の設立と題する記事中勸農會社に關係ある如く記載せしは誤聞にして同會社は右計畫等に何等關係無きに付正誤す

龍山通信

（廿三日支局發）

▲秋山騎兵監は豫報の如く一昨二十二日夜八時五分龍山着列車にて到着軍參謀長官舍に入られたるが昨日は午前入時官舍を出で大久保司令官を京城に訪問し後十三聯隊を巡視されたり▲南韓に出張中なりし竹內軍司令部副官は去る二十一日秋山中將を釜山に迎へ將軍に隨伴歸龍せり▲木越第六師團長は本月二十五日出發東上せらるゝことに確定せり副官南少佐は多分昨二十三日夜先發東上の途に就きし筈▲第二師團は第六師團と交代して韓國守備の任に就く由は曾て報道し置きしが同師團先發將校は去二十二日龍山に着し太陽旅館に投宿せり▲韓國鐵道管理局副參事村瀨鎌次郎氏は前日釜山に出張一昨二十二日夜歸任せり▲龍山麻浦兩地を接近せしむる爲め道路開鑿の必要を感じ民團理事者及居留地の有志家は種々智慧を絞りつゝありしが如し抑も同問題の提唱せられたる當初は二樣の計畫を立てられたり即ち一は桃山遊廓の東方を迂回して麻浦度支部煉瓦工場附近に通ずる現任の道路を切下げ交通運輸を便にすべしとの意見に基けるものにして他は元町一丁目の河岸より元總稅務使ブラウンの官舍前面の斷崖を截割り新道を開鑿せんとするものなり然るに其後種々居留地の利害を打算計較して若し經費にして大差なくんば後者を撰ぶべしとの意見一致したるが如く民團よりは技手を派して既に經費の見積りをも爲さしめ例の何うにかゝ何うにかゝ爲度しと溫和しき盡力を試みるべく試みつゝあり然るに記者昨日內部土木局に到り序を以て同問題に關し某當局者の意見を叩きしに同氏は該道路開鑿の必要を認め居れり而て既に必要なりと認めたる以上適當と信ずる程度に於ては經費の補助をも爲すの意あり然れども退は固より上官の承認を經て度支部の同意を得ざるべからざるに依り斷言は爲し難し而かも期を失して豫備金の使途定まりもしたらんには致方なからん倘氣遣はしきは江岸斷涯の截割を度支部が許可すべきや否や此の許可を得ることが先決問題ならん云々と親切に說示したり叙上は同氏が己人としての意見なるが記者は龍山より右に關し請願する處などなかりしやを問ひしに否と答へたり矢張り何うにかして何うにかなる時を待たざるべからざるか

▲治外法權▼

亞弗利加の惡氣候を冒して猛獸と戰ひ幾度となく其遭難をさへ傳へられたる、前米國大統領ルーズベルト氏は今や其雄圖を終へ歐州を巡回して近々獨帝と會見すると聞く、世界の偉人が一堂に會して握手する時の光景やそも如何、それにしても一度び傳へられた如くル氏日本來遊の實現されんことこそ望ましけれ▲世人に無能呼はりされ惡罵の中心となつて居た東拓重役も東拓法の改正と共に面目を新むるそうだ、之れで仕事が出來なかつたら愈無能が本物になつて仕舞ふ、重役諸氏大に褌を締めて掛からるべしだ▲廿二日着龍せられた秋山騎兵監は伊豫松山の出身である、松山の名物と云へば道後の溫泉と絣の蠶とよりしか無かつたが、明治になつて秋山、仙波の二將軍と、正岡子規氏とが現はれたので此三者は同鄕學生の理想の人物となり、續々と後進者が出來て來た、即ち軍人側では秋山、山路、櫻井等の海軍、兒島、恒吉、白川の如き陸軍其他尉官杯は多數に出來た、子規氏の現はれたため松山から多數の文士が生れたと同樣軍人の卵が年々多數に出來るされば後進者の模範として鄕黨に於ける將軍崇拜熱は非常な者だ記者の如きも又其一人である、一度笈を東都に負ふた松山の學生にして將軍を訪はざる者なく將軍も又懇切に之れを指導する表面は無口の武骨一片だが其實血と肉とが湧いて居る人である(柳)

朝鮮の風習(二)

▼珍妙の事許り

配遇者双方の親達が婚姻契約を締結する時に、男子の父たるオラミは女子の父たるオラミに對し紅の色紙に書いた手紙を送る、其書状には先づ自分の住所姓名を記し、此に相手方の姓名を聞ひ、婚姻の成立を祈るの願意を表し最後に自分は子息何人、内何人は結婚し又未婚者なること等を記して送るので、之れに對して女子の父より回答あれば即ち承諾したものにて極つて了ふ、夫れから挙式挙行の為め良日を日撰する段取りとなる、此處で例の巫覡に卜筮を為さしめ、愈々其日が決定すれば、挙式の数日前服飾及装飾物を女子に贈り、女子は自ら之を装飾して男子に嫁ぐる、婚禮は其日に之れを着て、花嫁は轎へ押込められて其處に饗宴を受けたる花嫁の親戚と姻戚を送りの者とが男子の家に戯謔を演ずる、昔は其間から死者を出したと云ふ物騒な噺もある。[illegible]

寡婦と再婚

寡婦は近来迄は絶對に再婚を禁せられて終身寡に服することゝなつて居たが、[illegible]

朝鮮人と蓄妾

嘗せられ、死後は特種の位牌を立てたものだが、此の方も今は何時の間にか女權擴張が行はれつゝあるやうだ勿論向きは再婚を許されて居る。

朝鮮では財産に少し餘裕があれば妾を蓄ふ、一人や二人乎りで無いものもある、其の妾となる女は貧家の女子を買取るのである、政府は昔から蓄妾には制裁を加へ無かつたが、法令を發布して蓄妾には五六級以上の官職に登るを得せしめざることゝしたこともある、併し韓國の如き右夫人左夫人の出は云ふ迄も無く別だらう

暴徒首魁の取調

▽容易に事實を白狀せず

去る十三日抱川郡蒼松面に於て積城分遣所の手に捕はれたる明治四十年以來の暴徒の首魁權重禹、高在植の二名は二十一日京城憲兵分隊へ護送し來り同隊に於て目下取調中なるが權重禹は聞こゆる學者にして風采堂々たるものあれど容易に事實を白狀せざる由

惨酷なる二葉亭(二)

元は公主嶺にて……憲兵伍長……清人を脅迫して退清命令……

護送せられた弘津芳太郎は同所から汽船に乗込んで一旦は日本内地へ引揚げたのである、斷つて置くが今の女房なる高田みかは此の時既に滿洲で、みかちゃん稼業から足を洗つてエヘン憲兵さんの嚊アでムいと高く止まつて居つた者で弘津が退清と同時に夫れ切り愛憎を盡かさず同行同船で國元へ着後内地の撰が元より調韓三界の雲ら害はなく茲で夫婦相談合一決楮女房のみかで料理屋なりと來する事になつた、抑のみかの生れ古郷と云ふは滋賀縣栗太郡大寶村大字野尻三十五番戸當年三十一才の女であるが渡來以後は女性專門のなく振り廻して誤商賣に引懸りしが右の弘津であつたので既に再び渡韓後も明治町の某料理店へ酌婦として入り込み

淫を鬻ぐ

盛んに男の生血を絞つて淫を鬻ぐ内偶々其の毒牙に見込まれし男と云ふは某銀行の行員で遂にはみかの口車に載せられ立派に借金拂つてみかを引取り圍ひ者としたのである

海樓へ仲居

併し此の女が是れ位の事に落附き相な筈はなく好い加減の頃を見計かつて旦那樓を突き放した後龍山の北海樓へ仲居として入り込んで茲でも例の怪腕を振つて居る内に婿殿の弘津が漸く渡來時機も熟したと云ふので兩人の持合金を出し合せ不足の處は衣類雜品を入質して始めて二葉亭なる飲食店を開業したのは今の二葉よりは五六軒南の汚れかゝつた温突であつた時は一昨々年即ち四十年の十一月なので……是れからが元新町松榮樓の娼妓小万仕替一件の魂膽となる、

●十圓紙幣から喧嘩

▽賭博の果ての紛失沙汰

大分縣生れ當時若草町一丁目左官職姫野清太郎(三一)同縣當時大和町二丁目住大工畔津定四郎同じく大分生れの明治町住鍛冶職安達久太郎の三名は二十二日夜安達宅にて三人車座となつて賭博に夜を明かせしが勝敗も濟んで其の朝姫野清太郎の立歸りし跡にて十圓紙幣一枚紛失し居たる事を見出し乾度姫野の所爲ならんとの疑念より畔津安達の兩人は直樣跡追つ驅けて姫野宅に押掛け十圓紙幣の談判を始めたる處姫野に於ては以ての外と逆襲に兩人へ食つて懸れ互に云ひ募りし果ては面倒と許り姫野は立上りて傍に置きありし刺身庖丁を取るより早く畔津見蒐けて切附けし騒ぎに巡査出張被害者は和田病院に收容姫野、安達の兩人は本署へ引致目下取調中との事なるが被害者畔津の負傷は大した事には非らで耳元より喉に懸りし者と防禦の際手指に傷きし位と

●農牛の炭疽熱

仁川多所面松林、李永根飼養の農牛一昨日斃死の旨屆出でに接し仁川署より矢野獸醫出張檢診したるに全く炭疽熱にて斃死せしものと判明せしかば規定に基きて嚴重なる消毒を施し屍體は燒却したりと

●頓と譯解らず

南山町四丁目菓子商江川吉太郎長男江川菊一(六つ)は二十二日夜同家店員小松菊藏なる者と同道にて壽座を見物に赴きしが一時が二時となつても歸り來らざるより同家にては騒ぎ出し其の筋へも屆出で搜索中なるも（下略）

●殊勝なる寄附者

龍山鐵道官舍第五七ノ二笠井龜基氏は先頃花の蕾の四女愛子をば病魔の爲めに失はれしが去二十二日金五十圓に左の書狀を添へ同女が在學せし龍山小學校に寄附したりと

四女愛子(九つ)儀豫て貴校に在學在籠候處本月一日病死致候に就て辱知諸氏より贈賻相成候に付其答禮に代へ厚志を永遠に紀し度前記金を貴校基金中へ寄附致候間御受納被下度候也

●掏摸?

若草町二丁目十八番戸岩見方住の藤本健次郎と云ふは二十二日午後九時頃本町六丁目林競賣所にて競賣所を見物中一韓人の袂を探り試みる者あるを氣注き引捕へて其の筋へ屆け出でたるが此の韓人は西部西門内住金健安(二三)と云ふ若者なりと

●迷子

若草町一丁目煉瓦職源次郎長女尾崎トキ(四つ)と云ふは二十二日午後四時三十分頃倭城臺交番附近を泣き叫びつゝ彷徨ひ居たりしにぞ同所の巡査交番に連れ來り保護其の親元を搜索中同女の實母なる者尋ね來りしかば之に引渡したりと

中翌午前六時半頃菊一は菊藏に連れられ壽町二丁目を通行し居たるを同家の知人が認め直樣菊一は連れ歸りたるが店員菊藏は其儘逃走して行衞不明さなれる由他分歸宅せば主家の叱責を恐れての事ならんも菊一の云ふ處に依れば前夜は或る空家に泊りたりとの事なれど何の爲めやら頓と解らず

目と耳

▲壽座 大入日延べとなりし同座本晩の替り狂言は左の如し

第一番地御祝儀賀の入船(一場)第二番目憐りの女房(三場)第三番目御好みに依り萬の葉(二場)第四番目芝居奥様(三場)大切大花火大仕掛狂ひ踊々(三場)

▲京城座 同座本晩の出し物は「二人狂」の通しにして其の役割は

刑事川口一(伊井)車夫留吉(花井)刑事山形(千葉)驛長渡邊金吾、鹽田明(川崎)仲居れはつ(金澤)町田慶三(桂木)鹽田しづ子(田中)辨護士君月保(高山)牛淵虎雄(高島)支那人李爽選 上田)巡査木村二郎(瀬)ピヤホール仲居(八島)娼妓ポテツル(秋岡)町田妹むめ事袖浦(三好)大田録造(美崎)錦織清一(瀬川)

▲仁川歌舞伎座 伊東文夫の同座本晩の替り狂言は一番目「紀念の軍刀」二番目「走馬燈」の四場なりと

▲春爛熳の肌心地可き折柄とて當地新町の賑ひも中々にて中にも大林屋の銀蝶、貞子、富子等の姐さん等は若手妓を引立てゝ他樓に劣なの大活動にて商賣頻る誤盛んの由なり▲遊廓事には何日も劣けては居らぬ同廓井門支店の連中迚も月枝、濱次、駒龍なんどの頭株が

大肌拔ぎの大奮發にて敗けな劣るなの意氣込にて嫖客吸集策に腐心した結果は廓内二と下らぬ大繁盛となり仲居妓共よゝれちよぼ至る迄ほく〳〵者と結構〳〵▲仁川朝日樓支店の尤物貞奴に以前敷島樓本店にて艶名を謳はれし手取者なるが仁川の不景氣に愛憎を盡かし再昨日其筋に廢業屆を差出して京城へ鞍替▲再昨日の彼岸の中日は仁川敷島遊廓の女郎連遊びたさ山々の寺參りから黒門前交番の奢公殿は殆んど應接に遑なかりしとはご最も▲中の新地の此の頃は遊山歸りのほろ醉ひ連が追々飛び込み初めしより不景氣風も何處へやら大分人氣も恢復とか▲清月樓氏名は大助とかいふも餘り圖體が大きいのでドコやらの活版に縁のある人がに初號活字と綽名を取つた女が居る源斯くは惡戲に異名を附したるなりとか▲新町遊廓中で最も室内の不潔なのは玉家で壁は落ち疊は破れたと云ふ有様で空家で寢る樣な心地がすると行て見た人の物語り(瞰雀)

平民文庫

▲僕は廿一日龍山の狹い所で出會頭に二頭馬車人力車の轅が馬の腹を擦つたかと思つた位であつたから危機如何に一髮の間にあつたか判るであらう狹い加かも曲り角を馬丁の先き觸れもなく二頭馬車を走らせる杯は甚だ以て不都合と思ふ龍山署に取締方を希望致します(風聞子)▲昨夜些細なる事より妻と口論の結果腹立ち紛れに五十錢貨一個を懷中なし壽座會我の家連の喜劇を見たが實に滑稽にして非常な愉快を感じ何時か怒りも消ね失せた腦病患者や神經質の者ども須らく毎夜見に行く可しだ僕の言ふことに嘘はないよ(一官吏)▲廿三日の京城日報三面欄に京城の刀圭界なる戰慄すべき一文を見た面して此の無責任なる醫師の名が省いてあるのは日報子の慈悲かも知れぬが却つて慈悲でない依つて自分は自分の聞き得た所を諸君にれ知らせする即ち其醫師と云ふは佐藤某だ(通報子)▲太平町二葉亭の梅子は病氣にも罹つて居ることだから何うかモ少し優待して行つたら番しからうに夫れに隨分稼いだから借金は棒に引いて行ればよいに(馴染客)▲隨分虫がれよろしくつて居らつしやるのね(小僧)▲三月十五日發行の法政新聞第十號に香阪いゝ子とは誰れとして此の方が野中某の手を以て高利貸しを營んで居ると云ふことが出て居るが一体何所の方のことか知ら(芳蓉院)▲京城地方裁判所内に大層厳重な一構への建物があつて其所の扉に開放を禁ずとあるが何時見ても閉つて居たことがない(不思議太)▲統監府で本年七八月頃普通文官登用試驗を舉行する筈だとのこと希望者は御勉強が肝要である(小僧)▲今年は我が日本は非常に天災地妖が頻發せらるゝ大阪朝日の天聲人語子の云ひ草ではないが何んの兆ぞも斯う多くては一寸手が附けられぬ哩(紅)▲今日は少々自分の失策を披露する▲廿日の日曜に家族を伴れて南山に遊んで歸つて晩飯の膳に對して居る如月會の二春庵宗匠から電話で開卷するから南大門外の林氏の宅迄出張しろとある▲少なからず酩酊してるのだから止せば善かつたとは跡で氣の付いたことで當時は一切夢中のヨシ來たと出向く其所でも又酒を御馳走になる▲既にして座に堪ゆられなくなつたので無斷退却と襖ガラリと引き明けて出口と思ふて踏み込んだのは押入れ▲今にして之れを意ふ冷汗の脊に洽きを覺ゆる▲併し僕が惡いのではない酒の爲だ(風聞子)▲然らば酒を禁めなさい(小僧)

▲支局移轉▼

本社龍山支局を若松町二十二番戸へ移轉す

龍山支局長 長野直彥
同營業主任 掛和正

▲支局移轉▼

吉凶鑑

本町五丁目 三一館判斷

三月廿四日舊二月十三日 ●一白友引戊子納社日△一白 貸借保證事聞違損害あり新事見合の事△二黑不如意なり新事及變更の事凶訴判相談依頼効なし△三碧 入學門旅行命名披露吉何改革整理の事吉△四綠 願藥の日なり大抵吉過失により什器を毀損の恐れあり△五黃 不振なり新事見合の事紛失盗害防ぐべし△六白 快欣の日なり但し爭論葛藤起り易し△七赤 會心の日なるも家族從者の事注意すべし△八白 饂飩多し盗害遺失防ぐべし△九紫 不得要領に了らん新事見合の事農林の業に吉

●食糧品羅市初相場

南大門 食糧品羅市場報

廿三日(出來高三百八十五圓六十錢)

品名	單位	相場
本蜜柑	四箱	二、〇〇〇
蜜柑大	石油箱	二、八〇〇
蜜柑中	箱入	二、三〇〇
	平籠	二、八〇〇
夏蜜柑	立籠	二、五〇〇
	十貫	一、五〇〇
ネギ	同	一、四〇〇
水菜	同	七、〇〇〇
ウド	同	一、九〇〇
生姜	一箱	二、五〇〇
玉葱上	十貫	七、〇〇〇
蓮根中	同	五、〇〇〇
長芋	十貫	五、七〇〇
里芋	同	六、〇〇〇
大根漬	同	二、八〇〇
昆布上	同	八、〇〇〇
昆布中	同	六、〇〇〇
煎子上	同	二、〇〇〇
煎子中	同	八、〇〇〇
煎子下	同	六、〇〇〇
胡瓜	百本	六、〇〇〇
奈良漬	一丁	八、〇〇〇
栗子	一箱	二、三〇〇

美術半襟帯締其他紐類各種

京城明治町一丁目
電話一千四百〇九

ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇度 三十四歳貨物取扱及通關手續に経驗あり多少英語を解す會社又は商店諸官衙を望む 氏名任社(一〇)

●農園 野菜類 協同者を求む但し經驗ある確實なる人 電話一二四二番方 ないとう

物件部

●貸家 平家一戸建間數四間及長家一戸間數三間場所南大門外吉野町

●瓦葺平家 建坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし 電話七四番へ

廣告

弦齋流割烹
並に歌舞伎辨當
材料の豐富と技術の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候

京城南山町二丁目
きは旅
(電話一五〇二番)
出前の儀は電話又は一報次第即刻持参可致申候

最新療治 マッサージ治療 (並 産婆開業)
◎主治衛要 脳神經諸病、胃腸諸病、神經痛、關接諸病、産婦人科諸病、うちみ、くぢき、りよまちす其他醫藥効なき頑固痼疾を治療す
京城太平町二丁目大漢門通光化門寄
長瀬軍醫監東京仁壽病院マッサージ部
京城出張所
助産の需に應ず産婆荒川元子

京城鐘路の喰物は何んだろー
鐘路所前の洋食店 鐘路軒の松茸めしさ
酒一本外和洋料理五品付 一人前六十錢
價が安くて うまくて はらニたまるよ皆さん一度たべてごらんなさい
又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる極く便利ですよ
電話壹四二十九番 客用有ます
◎盛弁當の差入も引受ます◎

純良 牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
配達
馬車
●●●滋養と牛乳●●●
●●●衛生と消毒●●●

胃腸新薬
タカヂアスターゼ
韓國總代理店
仁川本町二丁目電話八五〇番
竹田津三平

めし道樂 開業御披露
鯛 松たけめし 一人前三十錢
あなご 竹の子めし たなしく
鷄 ゑんどうめし たなじく
なくて七癖と申しますから隨分色々の道樂もありますが就中めし道樂ほど、よい道樂はございません、此道樂を發揮せん爲め、わざ〳〵大阪表からわり殻きの美人を呼びよせ釜のまゝ御座敷の眞中に持選び御客樣の御嗜好に任せ按排加減を程好くして差上ます何卒御賞味かた〴〵御來遊の程ひとへに願入申ます尚多少によらず出前も御便利に迅速に届け仕りますから御用命の程御願申上ます
大和町三丁目 梅の家眞向ひ
明月
電話七三五

紙と印刷
諸官衙御用
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

諸荒物世帯道具一切
其他和洋蠟燭 アサヒ サッポロ ビール 精白米
右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
京城本町六丁目
日用雜貨 御問屋
西崎嘉七本店
電話二一〇電略(ニカ)
振替貯金口座韓七番

京城南山町(元日本人倶樂部事)
京城ホテル
長電話一二三番
電話四九二番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町二丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番

生徒多年在職 京都帝國醫科大學耳鼻咽喉科教室に勤務罷在 和辻博士(左記ノ下ニ研究致シ居候處今回)に於て斯科患者の診療從事致し候
耳鼻咽頭喉頭氣管病
診療時間 午前九時至午後七時迄
旭町三丁目(三日月旅館上)
前漢城病院耳鼻咽喉科部長
石田耳鼻咽喉氣管科醫院
石田誠
今般石田誠君貴地に於て開業致候間小生同樣御眷顧被下度候
京都醫科大學
醫學博士 和辻春次

綿わたワタ たやすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ツ角
御問屋
唐川商店
電話二六一

韓官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類 其他
委託販賣
東京ランバーダ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山塞鹽合資會社食鹽特約
本社 京城明治町二丁目(電話三〇番)
出張所 東京十番地京電橋新南橋三六九一町鍋二丁目

移轉御披露
御蔭樣にて日増しに繁昌にもむき從來の店にては手狹を相感じ候に付同町六十九番戸(從來の店より三軒上る金澤旅館へ入角)へ移轉し一層大勉强仕候間倍舊御引立の程奉希上候
京城明治町一丁目
はたのや事石田精肉店改

牛肉卸小賣
石田兄弟商會
商號變更
電話千四十二番

東京足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

明治廿年七月創立
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

本院は左記の時間割を以て左の諸氏に依賴し各科の診療に從事す入院の需めに應ず
外科花柳病科 診察時間午前九時より正午に至る 前漢城病院長 ドクトルメヂチーネ 和田八千穗
内科小兒科 自午前九時至正午 前仁川病院長 醫學士 松村三省
眼科内科 同 自午後一時至四時 東京醫科大學選科卒業 院主 瀧澤喜太郎
耳鼻咽喉科 同 自午後一時至四時(但し毎月四回一日五日十五日廿五日) 醫學得業士 赤羽學
婦人科 同 同自午後一時至四時 醫學得業士 天ケ瀨健六
龍山居留民團囑托
龍山榮町(文平山麓)
龍山醫院
院主 瀧澤喜太郎

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
(鍛そば横町)電話一五八三番

特約販賣
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
自製 和洋酒、罐詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、塩辛、日本酒、食鹽各種特約販賣
御注文は御宅に依り商品切手調進仕候

辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
京城明治町二丁目(佛國教會前)
電話三五四番

滋養 牛乳
京城大和町二丁目
平山牧場

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

★株式會社百三十銀行
京城本町二丁目十五番地 總辨支店
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤
山陰道 大津寺、高山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、綱干
南海道 半宮、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱、若松
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、門司、久留米、若津、中津、小倉、大分、行橋、後藤寺、佐伯、別府、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
清韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壌、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

御料理席貸
和樂園 高田家
(電話九三七番) 米倉町
○料理は萬事御手輕にして高尙
○園内は至極閑靜にして別世界
○土地高燥にして見晴し京城一
○大廣間の設備も有之候間集會又は宴會等に適當に候

荒井牧場
電話一〇五番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店 出張所
京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州 大阪、熊本
韓國本日
五島、壹岐 佐世保、嚴原
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢一厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)